

うつのみやまちづくり市民会議 第2回全体会 議事要旨

会議の名称	市民会議（第2回全体会）
開催日時	平成18年4月19日（水）午後6時30分から8時30分
開催場所	宇都宮市役所 14階14D会議室
出席者	都市自治分科会 中村会長，浅見副会長 生活環境整備分科会 塩田会長，上田副会長 教育文化振興分科会 大塚会長，鶴見副会長，佐藤副会長 市民福祉分科会 梅林副会長 産業振興分科会 津谷会長，金谷副会長 都市基盤整備分科会 岡本会長，森田副会長 市事務局
会議内容	・ 分科会ごとの重点課題の発表・質疑応答 ・ 横断的に取組むべき課題への対応 ・ 今後の進め方
会議資料	資料1（分科会別重点課題） 資料2（分科会別これまでの検討経緯）

1. 開会

事務局

- ・ それではこれから，全体会を始めます。本日は分科会で検討いただいた内容を共有していただきたいと思います。

2. 全体会会長挨拶

- ・ 昨年10月以来，これまで6回にわたって，分科会を積み重ねてきました。今日のこのような場や，とりまとめた資料こそが，市民と行政の協働の取組であると思います。
- ・ いまの時代は自治体の個性を出していく分岐点にあるのではないのでしょうか。市民会議での議論が個性のある計画につながってほしいと思います。
- ・ 今日は気持ちよく，大いに語っていただきたいと思います。また，各分科会の活動を把握して，今後の検討の推進力にしていきたいと思います。

3. 事務局挨拶

- ・ 本日はお集まりいただきありがとうございます。本日はフランクに自由に意見交換していただきたいと思います。
- ・ 現在，市におきましても，皆さんと同じようにSWOT分析により市の重点課題を出しているところです。

- ・今年度では、市民会議の成果と市の検討経過をすり合わせながら、課題を解決するために必要なプロジェクトは何か、施策は何かについて、年度内にまとめていきたいと思います。
- ・ただいま宇都宮市は周辺町から合併の話が持ちかけられています。合併がどうなるか分かりませんが、仮に合併が決まると、宇都宮市だけで総合計画を検討するわけにはいかないため、市民会議のスケジュールがずれる可能性もあります。
- ・今年度も引き続きよろしくお願いします。

4. 資料説明

(事務局より説明)

5. 議事

議長

- ・本日は資料①を使って、情報共有していきたいと思います。
- ・まず、重点課題について分科会ごとに説明をお願いします。

各分科会代表（会長または副会長）

- ・成果発表（資料①を参照）

議長

- ・ご意見、ご質問について発表をお願いします。

教育文化振興分科会

- ・生活環境分科会の検討には共感するものがありました。自動車に乗るには便利なまちづくりが進んでいますが、歩行者や子育てをする人にとっては住みにくいところがあります。
- ・途中まではバスの便があつて、途中からは自転車や乳母車、車椅子などが借りられるとよいのではないのでしょうか。

生活環境分科会

- ・現状では、自転車とバスなどの連絡は悪いと思います。乳母車を利用する人にとっても、あまり親切ではなく、車中心のまちのつくりになっていると感じています。

教育文化振興分科会

- ・歩行するには、電柱などが危険な場所もあります。

産業振興分科会

- ・ 前回の市民会議では要望型のアイデアが多かったと思います。今回の分科会では市民が自分たちで何かしようという動きがあります。
- ・ 景観について、いくつかの分科会で議論されています。先進地域も見ながら、景観に配慮した交通アクセス体系を見直すことが必要ではないでしょうか。
- ・ また、行政の役割についても今後より議論する必要があると考えます。官から民への流れのなかで、民へ任せた後であっても、行政の役割は必要なところがあると思います。
- ・ 市民会議の成果報告書では何らかのキーワードが出てくるとよいと思います。

市民福祉分科会

- ・ 子どもの居場所づくりについては教育と福祉の分科会で共通する課題ですが、教育文化振興分科会のウェイトのほうが高いのではないのでしょうか。

教育文化振興分科会

- ・ 教育文化振興分科会では、学校というハードを使ったソフト面での施策を考えていきたいと思います。

教育文化振興分科会

- ・ 今回の市民会議では、市民が主体となってまちづくりしていくという思いが重要になると思います。
- ・ そうした観点から考えると、共通する課題を 1 つの分科会での検討に移す必要はないと思います。それぞれの角度で検討を進めてみてもよいのではないのでしょうか。教育文化振興分科会で考えている子どもの居場所と、福祉分科会で考える居場所では、性質が違ってよいと思います。

議長

- ・ 分野横断的な課題については、視点を変えてそれぞれの分科会が検討するという意見には私も賛成です。

産業振興分科会

- ・ 中心市街地などのテーマでは、分科会ごとの視点の違いから、両立が難しい施策も出てくるのではないのでしょうか。

都市基盤整備分科会

- ・ 例えば、中心市街地におけるマンションの建設のあり方などは、いろいろな見方があると思います。私は条例で規制をしたほうがよいと思います。

産業振興分科会

- ・地理的な認識も重要となります。抽象的に議論するのではなく、この地区はこうしたいという具体的な認識が必要だと思います。

生活環境分科会

- ・景観については、現状をもう少し詳しく調べる必要があると思います。

産業振興分科会

- ・例えば、JR 宇都宮駅西口は車が中心のレイアウトとなっているといった、共通の認識があったほうがよいのではないのでしょうか。

議長

- ・市全体のグランドデザインの意識を持ちつつ、個別のテーマの施策について検討する必要があるというご指摘かと思います。

都市自治分科会

- ・問題意識はある程度各分科会で共有されていると思います。
- ・宇都宮が一番住みたいまちと思われるようになる、といった共通のコンセプトが必要ではないのでしょうか。

教育文化振興分科会

- ・宇都宮市がこれから何で食べていくのかについて、考えていかなければならないと思います。
- ・高齢化を迎えるにあたって、なるべく若年層に住んでもらいたい、そのための方策を考える必要があるのではないのでしょうか。例えば、世代間交流の場をつくり、子育てを支援することが必要かと思います。
- ・また、宇都宮市ではたくさんの大学がありますが、大学を出た後の働く場が少ないと感じています。

産業振興分科会

- ・私の分科会では、雇用の点では、ベンチャーの育成が必要であると考えています。

教育文化振興分科会

- ・この全体会のように意見を交換できる場をもっと増やしたほうがよいと思います。そうした場がないと、分科会ごとの検討が市の大きな目標からぶれてくるのではないでしょ

うか。

都市基盤分科会

- ・高齢者への対応については、独居老人への対応や、緊急時の連絡体制などを市民福祉分科会でも取り上げてほしいと思います。
- ・学校給食については、どの程度の安全な食材が使われているのかについても、議論していただきたいと思います。現状ではレトルト食品を使う割合も多いのではないのでしょうか。

副議長

- ・今回は施策の柱的なことを発表していただきました。今後は具体的な事業についての検討になると思います。
- ・既に市が取り組んでいる事業も多いので、市から情報をもらいながら、既存の事業のうち何がうまくできていないのか、それはなぜなのかについても、議論していただきたいと思います。

議長

- ・専門家のなかには、これからの時代は東京一極集中ではもたない、数十万人規模の都市が重要になるという指摘もあります。
- ・これからは具体的な施策の提案が重要になります。われわれ市民が自ら調査して施策をつくっていく必要があると考えています。

6. 閉会

事務局

- ・実際の実行に移される提案になるように、今後ともご検討のほど、よろしくお願いします。

議長

- ・本日は中身の濃い刺激的な報告、議論ができたと思います。今後ともよろしくお願いします。
- ・以上で第2回全体会を閉会します。どうもありがとうございました。

以上